

JOCの取り組み状況について

スポーツ審議会スポーツ基本計画部会における関係団体ヒアリング

公益財団法人日本オリンピック委員会

JOC Vision 2064



スポーツの価値を守り、創り、伝える

Cherish, create and convey the value of sport

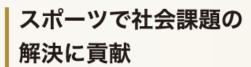
Vision に基づく活動指針

オリンピズムが浸透している 社会の実現

オリンピズムを誰もが当たり前のように理解し、スポーツを通し て豊かに生きる喜びが浸透している社会をつくる。

憧れられるアスリートの育成

高い競技力と人間力を活かし、充実した人生を歩む、憧れの存在となるアスリートを育てる。



さまざまなスポーツ団体と連携し、スポーツの力を結集し 国際社会が抱えるあらゆる課題の解決に貢献する。











第2次JOC中期計画(2025-2028)



国際競技力向上



写真:代表撮影/ロイター/アフロ

大会期間	2024年7月26日~8月11日
人工期间	2024年7月20日~6月11日
開催場所	パリ/フランス共和国
参加NOC数	206NOC **Refugee Olympic Team (IOC難民選手団) 及びIndividual Neutral Athletes (個人中立選手) が参加。
実施競技/種目数	32競技/329種目(前回33競技/339種目)
	【団長】尾縣 貢 【副団長】土肥美智子、谷本歩実、井上康生
TEAM JAPAN編成	【旗手】江村 美咲(フェンシング)、半井 重幸(ブレイキン)
	編成数 合計 744名 男子選手:218名、女子選手:191名、監督・コーチ等335名
日本の参加競技/種目数	31競技/192種目
TEAM JAPAN編成方針	TEAM JAPANは、「人間力なくして競技力向上なし」を根幹に据え、行動規範を遵守し、各国・地域との友好親善に寄与できる選手と監督・コーチ等をもって編成する。TEAM JAPANの選手は、当該競技団体から推薦され十分な活躍が期待できるものの中から選考し、TEAM JAPANとしての自覚と誇りを持ち、最高のパフォーマンスを発揮する。







金メダル

銀メダノ

銅メダル

合計 45

4тн 8 <mark>5тн 22 6тн 13 7тн 16</mark> 8тн 11

合計 70

- *国外開催大会でメダル総数過去最多、 入賞総数過去最多
- *前回大会(東京2020)は、メダル総数58 (金:27銀:14、銅:17)、4位~8位:78の 入賞総数136







写真:松尾/アフロスポーツ





TEAM JAPAN Paris 2024

RISING TOGETHER。

能登半島地震復興支援



環境保全・地域活性化への取り組み



アスリートへの誹謗中傷対策関係

これまでの動き

- ・アスリートサポートを目的に、IOCがパリ2024オリンピック出場の各選手団にウェルフェアオフィサー用のADを設定 (活用は各NOCが決定)
- ・パリ2024オリンピック期間中のアスリートへの誹謗中傷に対し、2024年8月1日に「TEAM JAPANからのメッセージ」を発出
- ・スポーツ庁のご理解のもと、2025年3月にJOC・JPC共同で誹謗中傷相談窓口を設置、ポスター制作。記者会見を実施

2024.08.01 お知らせ

第33回オリンピック競技大会(2024/パリ)TEAM JAPANからのメッセージの掲出について

本メッセージは、競技に臨むアスリートが置かれている状況をご理解いただき、SNSでの誹謗中傷からアスリートの心身の状態を守るとともに、より多くの方にスポーツの価値をご理解いただき、応援いただきたいという思いから掲出するものです。

■TEAM JAPANからのメッセージ

いつもTEAM JAPANを応援いただき、誠にありがとうございます。 応援いただく皆さまへ改めてSNS等の投稿に関してお願いがあります。

アスリートは4年に一度開かれるオリンピックに向けて、自分自身のため、そして支えてくださる多くの方のため、人知れず努力を重ねてきました。

どのアスリートも、一瞬一瞬を無駄にせず、緊張の中で、自身が最高のパフォーマンスを発揮できるよう、調整して大会に臨んでいます。

中には、試合前にコンディションを見極めて厳しい選択をせざるを得ないこともあります。

どれだけ準備を重ねても、試合では予期せぬこともたくさんあります。

そのすべてを受け入れて、自分にできる最高のパフォーマンスを発揮すべく、アスリートはその場に 立っています。



写真提供・共同通信社

第4期スポーツ基本計画に向けた期待

- 東京2020オリンピック以降の継続的な強化支援、サポート体制の継続
- 誹謗中傷対策への継続的な支援
- ウエルフェアオフィサー、セーフガーディングオフィサーの育成と体制づくりの支援
- スポーツの地域展開にも資するアスリートのキャリア形成支援
- スポーツ医・科学支援・調査の強化と健康増進、予防医療分野への展開
- 民間資金によるスポーツ支援拡大
- 審判や競技役員を含めたスポーツを支える方への支援の確保
- 持続的なスポーツ振興ならびに社会活性化のための国際競技大会開催支援と大会運営 ノウハウ継承

a